

放射線部  
放射線検査技師 (入職1年目)

ベッキ ユウスケ  
戸次 悠輔

親戚に医療従事者がいたことから、医療への興味を持ち始めました。医療系の数ある職種の中でも、放射線の物質を透過する性質をおもしろいと感じて、診療放射線技師を志しました。

趣味は古着屋めぐりです。ユニークな1点ものや味のあるフード、リーズナブルな服で溢れているので心惹かれます。長年住んでいた地元を離れて周南に来たので、COVID-19が落ち着いた頃に、この近辺でいい店がないか探してみたいと思っています。



リハビリテーション部  
作業療法士 (入職1年目)

ふじもと まい  
藤本 真衣

高校時代の部活のコーチが理学療法士だったことから、リハビリの仕事に興味を持ちました。患者さんの身体面だけでなく、精神面にも関われることに魅力を感じて、この仕事を目指しました。まだまだ未熟なため、これから技術を磨いて、みなさんから信頼される作業療法士になりたいです。

趣味はおいしいものを食べる。熊本から移住したので、これから山口めぐりでおいしいものをたくさん食べたいです!



JCHO徳山中央病院広報誌「Smile」 盛夏号vol.016 2021年8月10日発行 お問い合わせ先は…JCHO徳山中央病院 総務企画課 TEL: 0834-28-4411 E-mail: main@tokuyamajcho.go.jp  
発行/JCHO徳山中央病院 direction & design/みるくグラフィックス writing/小野理枝 photo/Photo Office MOTHER LEAF

Tokuyama Central Hospital  
**Smile** [スマイル]

地域のみなさまと『JCHO徳山中央病院』をつなぐ  
コミュニケーションマガジン

ご自由にお持ち帰りください

vol. 016  
Midsummer. 2021

診療科情報/乳腺外来 P1-2

# 進化する乳がん治療

乳腺外科 主任部長 山本 滋  
外科 部長 藤田 雄司

Hello! 部署訪問 P3

## 東館6階病棟

認定・専門看護師 P4

手術看護認定看護師  
藤田 友里江

<Pick up!> P5-6

国際規格ISO15189の基準に基づいた  
質の高い臨床検査を実施!

## 臨床検査部

よろず相談室 P6

表紙のはなし:フレッシュスマイル! P7

放射線検査技師 戸次 悠輔 作業療法士 藤本 真衣

旬食材で健康レシピ P7

サバ缶と夏野菜のカレー  
管理栄養士 佐々木 乃莉子



旬食材で 栄養管理室が発信!

## 健康レシピ

管理栄養士  
ささきのりこ  
佐々木 乃莉子



青魚は免疫力UPのために食べたい食材のひとつです。サバ缶なら下ごしらえ要らずで、簡単に調理できます。うまみたっぷりの汁ごと使いましょう。ショウガとニンニクを加えることで、青魚特有の臭みも解消! 夏バテ防止のために、ビタミンたっぷりの夏野菜と一緒に食べましょう。

no. 16 サバ缶と夏野菜のカレー

材料 (2人分)

- ・サバの水煮缶.....90g
- ・タマネギ.....1/2個
- ・ズッキーニ.....1/2個
- ・ナス.....1/2個
- ・ピーマン.....2個
- ・トマトの水煮缶.....100g
- ・ニンニク・ショウガ・各小さじ1
- ・顆粒コンソメ.....小さじ1/3
- ・カレールウ.....20g
- ・サラダ油.....大さじ1

作り方

- ①サバの身と汁を分けておく。②鍋にサラダ油、みじん切りにしたニンニクとショウガを入れて、弱火で炒める。③香りが立ってきたら中火にし、タマネギのスライスを加えて炒める。透き通ったら、1cmの輪切りにしたズッキーニとナスを加えて炒め、トマトの水煮缶を加える。④サバ缶の汁と水を含めたもの1カップ、顆粒コンソメを加えて混ぜ、煮立ったらふたをして弱火で10分ほど煮る。⑤サバの身、2cmの角切りにしたピーマン、カレールウを加えて混ぜて、ふたをしてさらに2~3分煮れば完成。



## 編集後記

はじめまして。新しく広報を担当する小野です。みなさん、猛暑の日々をいかがお過ごしでしょうか? 夏を代表する果物、スイカにはスーパーアミノ酸のシトルリンが含まれており、血流を改善して、むくみや冷えの解消、疲労を回復する効果があるそうです。スイカを食べて、暑い夏を乗り切りましょう! (小野)

## ご感想・ご意見を募集しています

誌面に対するご感想やご意見、とりあげほしいテーマがありましたら、①氏名②住所③年齢④性別⑤ご感想などをご記入のうえ、下記宛先までお便りかメールでお送りください。

○個人情報取り扱いについて  
個人情報は、今後の誌面づくりの参考のために使用し、使用後は編集部が責任をもって破棄いたします。

--- あて先 (切ってハガキに貼ることができます) ---

〒745-8522  
周南市孝田町1-1  
JCHO徳山中央病院 総務企画課 宛



# 進化する乳がん治療

なんでも相談してください!



異変に気付いたら、怖がらずに病院へ行くことが大事! 放置しないでくださいね!

JCHO 徳山中央病院  
乳腺外科 主任部長・外科 副主任部長  
山本 滋 (左)

日本乳癌学会乳腺専門医/指導医・マンモグラフィ読影認定医・乳がん検診超音波検査実施/判定医師・日本乳癌学会評議員・日本乳癌検診学会評議員・日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会評議員

外科 部長  
藤田 雄司 (右)

日本消化器外科学会専門医/指導医・日本外科学会認定医/専門医/指導医・検診マンモグラフィ読影認定医・消化器がん外科治療認定医

## 乳腺外科を新設しました!

これまで外科の中で乳腺診療を行ってききましたが、2020年6月に新たに乳腺外科を開設しました。乳腺外来の受付は月曜から金曜の午前。乳がんをはじめとする乳房のさまざまな病気に対する診療を行っています。乳房の異常が気になる方、乳がん検診で二次精査が必要になった方、かかりつけ医から受診をすすめられた方などの診療のほか、乳がんの術後ケアにも対応しています。乳腺の良性腫瘍や乳腺症、乳腺炎などの疾患についても受診していただけます。

check!

こんな症状はありませんか?

- 乳房や脇にしこりがある
- 乳房の形や大きさに左右違いがある
- 乳頭から血性の分泌液が出る
- 乳房をつまむとえくぼができる
- 乳房に生理前だけではない痛みがある
- 乳首にただれができたり治ったりを繰り返す

## 乳がんにかかりやすい人

乳がんは、女性で最も患者数の多いがんで、日本人女性の11人に1人がかかるといわれています。2017年の新規乳がん患者数は年間およそ9万人。2019年の死亡者数は約15,000人で女性のがんでは第5位となっています。乳がんの大きな要因のひとつは遺伝です。血縁者が乳がんにかかった人は遺伝的に乳がんになりやすい可能性があります。また、女性ホルモンであるエストロゲンが関係しているともいわれており、右の条件にあてはまる人は、特に注意が必要です。

- ・血縁者が乳がんにかかった
- ・初経年齢が早い
- ・閉経年齢が遅い
- ・初産年齢が遅い
- ・出産や授乳経験がない
- ・授乳期間が短い
- ・閉経後の肥満
- ・長期の女性ホルモン剤の使用
- ・飲酒、喫煙の習慣

大事!  
条件にあてはまる人は、積極的に検診や自己チェックを行いましょう!

## 乳がん治療はここまで進んでいます!

当院の乳がん手術は、年間平均100例。乳腺専門医・指導医・外科専門医資格をもった医師が中心となって行っています。

以前は乳房にどんなに小さながんができても乳房をすべて切除していました。しかし最近では、腫瘍の大きさが3センチ以下で、術後に乳房の整容性が保たれると判断できた場合、患者さんの希望があれば部分切除をします。いわゆる乳房温存手術です。患者さんの約40~50%がこの手術を受けています。乳房全切除(全摘)を受けた方も、希望があれば山口大学病院を紹介して、形成外科専門医により人工乳房(シリコン)や自分の筋肉などを用いた再建手術を受けることができます。

昔は、腫瘍の取り残しがないように、脇の下のリンパ節を全部

摘出していたので、術後に手術側の腕が腫れたり(リンパ浮腫)、腕の運動障害が発生したりしていました。しかし、ステージⅠ・Ⅱの患者さんの90%にはリンパ節への転移がみられません。そこで近年は、乳房にできたがん細胞が最初にたどり着くリンパ節(センチネルリンパ節)に転移がない、あるいは転移がごくわずかであると、リンパ節の手術は省略します。当科ではICG蛍光法という特殊なカメラを用いており、センチネルリンパ節をほぼ100%の確率で見つけることができ、放射線物質も使わずに済みます。

また、数百の遺伝子を一度に網羅的に解析する遺伝子パネル検査により、個々の患者さんに効果が期待できる薬剤を探し出すことも積極的に行うようになっています。

## 乳がん遺伝

遺伝性乳がんの治療も進歩しています。乳がん罹患した年齢、乳がん・卵巣がんの家族歴、乳がんのタイプなどから適応のある患者さんでは、BRCAと呼ばれる遺伝子を調べることができます。変異がみられた場合には、遺伝カウンセリング、がんが発症していない反対側の乳房の予防的切除、卵巣切除が受けられるようになりました。当院でも、臨床遺伝専門医による遺伝診療科にて遺伝カウンセリングを行っています。2020年4月からは、遺伝性乳がんの一つである遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)に対する遺伝子検査や予防的切除には保険が適用されるようになり、患者さんの金銭的負担が軽減されるようになりました。

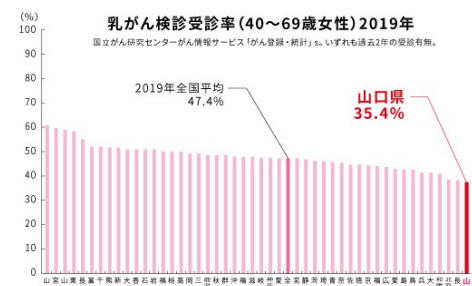
## 手術後のフォローアップも万全

手術後は、手術側の上半身を挙げる訓練を理学療法士が行い、自宅でできるリハビリの方法を紹介します。退院後の乳房のケアについては、外科病棟看護師が説明します。外来で上半身のむくみなどが見られた場合は、リンパ浮腫セラピストおよび外来看護師による治療相談を受けることができます。さらに、開業医の先生と乳がん術後の地域連携診療も開始し、よりきめ細やかなフォローアップ体制を整えています。

チーム一丸となって患者さんをサポートします!



産婦人科・遺伝子診療科 副主任部長 山縣 芳明  
がんゲノム医療コーディネーター 遺伝性腫瘍コーディネーター 宮崎 直美  
主任理学療法士 原田 利恵  
主任作業療法士 リンパ浮腫セラピスト 鈴木 健朗  
本館4階看護師長 廣中 春美  
外科外来看護師 福永 久仁子



# 東館6階 病棟

## 部署データ>>

- ✓ 消化器医師 ……………9名
- ✓ 看護師(病棟) ……………30名
- ✓ 看護師(内視鏡室) ……………8名
- ✓ 看護補助者 ……………6名



## いつも優しさを忘れず

## 心の通った医療を提供したい

東館6階は消化器内科のみの単科病棟です。病床数は41床、平均在院日数は10.5日で、平均病床利用率は100.1%と常に満床の状況です。急性期から終末期まで、あらゆる消化器疾患の患者さんが入院しており、ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)での検査や、ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)などの内視鏡的な治療、カテーテルを使った肝臓がんの治療など、さまざまな検査や治療を行っています。食道静脈瘤の破裂や胃潰瘍などで緊急処置を要する場合は、休日や夜間を問わず内視鏡看護師と協力して緊急の対応を行います。昨年度の年間化学療法件数は357件。膵臓がんや肝臓がん、胃がんの患者さんが増えています。化学療法を継続することで現れる副作用は、患者さんの体に大きな負担をかけます。患者さんにできるだけ前向きな気持ちで治療に臨んでもらえるように、病棟薬剤師と共に患者さんの心に寄り添った支援を行っています。

入院を契機に日常生活動作が低下し、自宅退院が困難になるケースも増えています。そこで、週1回チームごとに「退院支援カンファレンス」を行っています。病棟スタッフをはじめ、地域連携室スタッフ、リハビリスタッフ、管理栄養士などが

消化器内科は入退院が激しいため大変なことも多いですが、毎日多くのことを学ばせていただき、やりがいを感じています。

ありもと ゆい  
看護師 有本 祐衣



参加し、退院支援が必要な患者さんに対して、情報共有を行っています。患者さんやそのご家族の意向に添った支援ができるように、多職種がそれぞれの専門性を持ち寄り、一番望ましいゴールを考えています。今後は、地域の病院や訪問看護ステーションなどとも連携を取り、患者さんが住み慣れた場所に早く戻れるように支援していきたいと思えます。これからも、いつも優しさを忘れず、患者さんやご家族の思いに寄り添い、安全・安心な看護が提供できるように取り組みます。



患者さんが安心してできるように、思いに耳を傾けています。

たかさき さわ  
看護師 高崎 咲羽



# 認定看護師

## Certified Nurse

徳山中央病院では、現在14名の認定看護師が活動しています。今回は、手術看護を専門とする認定看護師をご紹介します。

## 認定看護師って?

特定の専門分野における看護のスペシャリストです。看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める615時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格した者のこと。合格後は、5年ごとに更新審査が行われます。

## 手術看護認定看護師

ふじ た ゆり え  
藤田 友里江



## Q 認定看護師をめざしたきっかけを教えてください

A 入職当初から手術室に配属され、あっという間に17年が経ちました。学生のときにはほとんど知ることのなかった手術看護に戸惑うこともありながら、日々向き合ってきました。10年が過ぎた頃から「自分の手術看護は本当にベストなのか、ただ経験を重ねているに過ぎないのではないかと疑問を感じるようになった。改めて手術看護について学びなおしたい。患者さんと接するとき、後輩に指導するとき、自分の看護に自信をもてるような軸がほしい。そう考えて手術看護認定看護師の資格を取得しました。学びをいかして自分自身の看護を日々追求し、手術室全体の看護力向上のためにも力を注いでいきたいと考えています。

## Q 手術室看護師の役割は何ですか?

A 手術看護というと、ドラマで見ると「医師に器械を渡す看護師」をイメージされることが多いかと思います。そのほかにも、麻酔に関わる介助を行ったり、手術の進行状況や患者さんの状態に合わせてさまざまな準備を行ったりしています。麻酔で眠っているときは寝返りを打つことができません。その状態で手術のために一定の姿勢を保ち続けるため、身体にある程度負担がかかり、合併症につながることもあります。私たちはそうした合併症を予防し、患者さんにとって少しでも快適な状態を保てるように工夫を凝らしています。最近は、手術中だけでなく、手術前後の看護にも取組が広がってきています。時間の許す限り、手術前や手術

後に患者さんの病室へ足を運びお話を伺うようにしています。手術前の患者さんは、「麻酔は痛い?」「手術についてよく分からなくて怖くなって…」など、さまざまな思いを話されます。麻酔や手術について知っているからこそ、それぞれの患者さんに合わせて話をすることを大切にしています。

## Q 日頃から大切にしていることを教えてください

A 手術は、患者さんやそのご家族にとって、とても大きな出来事です。それぞれが抱える悩み、手術や麻酔に対する恐怖や不安、痛みに対する心配、治療に対する期待など、その思いはさまざまです。私たち手術室看護師は、そういった患者さんやご家族の思いを受け止めながら、見えないところで患者さんの支えになりたいと、日々手術看護に取り組んでいます。手術のこと、麻酔のことなど気になることがありましたら、「手術室の看護師さんと話したいのだけど…」と、病棟看護師に気軽にお声がけください。



## 藤田看護師のFavorite!

もともとお菓子作りが好きだったこともあり、パン作りを始めました。元パン屋の夫からはいつもダメ出しをされますが、手術室のスタッフたちは喜んで食べてくれるので作りがいがあります!



Pick up!  
ピックアップ!

国際規格ISO15189の基準に基づいた質の高い臨床検査を実施!

# “臨床検査部”

今年2月、当院の臨床検査部がISO15189を取得しました。取得に向けてどんな苦労があったのか、取得によりどんな変化があったのか、臨床検査部のみなさんにお話を聞きました。



臨床検査部  
臨床検査技師長  
QMS検査室管理主体  
三浦 みどり

臨床検査部  
臨床検査技師  
QMS副品質管理者  
伊藤 大佑

臨床検査部  
主任臨床検査技師  
QMS検査室管理主体  
宮原 誠

臨床検査部  
主任臨床検査技師  
QMS技術管理者  
早川 誠

## “国際規格ISO15189”とは?

ISOとは、International Organization for Standardizationの略で、日本では国際標準化機構と呼ばれています。国際的に標準とされる国際規格を定める組織で、本部はスイスのジュネーブに置かれています。この規格は、工業製品やその技術、食品安全、農業、医療など、全ての分野をカバーしています。

今回、当検査部が取得したISO15189は、医療の中でも臨床検査室の品質管理に特化した認定です。この認定を取得することで、検査技術や設備が健全に管理運営されている臨床検査室として国際的に認められたことになり、これまでに増して患者さんへ質の高い検査結果を提供することができます。

—臨床検査部のお仕事について教えてください。

宮原 当院の臨床検査部は、血液や尿などを調べる検体検査、心電図や超音波検査などの直接患者さんの体を調べる生体検査、病気の引き金となっている原因ウイルスや細菌を調べる微生物検査、病気の良性、悪性を診断する病理細胞診検査の4部門に分かれて検査をしています。臨床検査技師はさまざまな検査を行うエキスパートです。あまり表に出ることはありませんが、病気の早期発見や予防、治療をする上でなくてはならない“縁の下の力持ち”のような存在です。

三浦 幅広い検査があるため、それぞれの臨床検査技師が専門性をもって仕事をしています。現在スタッフは、病理診断科主任部長 山下吉美医師をはじめとして、臨床検査科主任部長 宮原誠医師、臨床検査技師、医療技術補助員の総勢47名。正確な検査結果をできる限りスピーディーに提供できるような体制を整



えています。また、多職種と連携して、院内の感染対策や治療における栄養サポートなど、チーム医療の一員としても活動しています。

—今回ISO15189を取

得した際、いろいろな苦労があったそうですね。

三浦 ISO15189は「品質マネジメントシステム(QMS)の要求事項」と「臨床検査室が請け負う臨床検査の種類に応じた技術能力に関する要求事項」の2つから構成されています。我々はいわば技術屋なので、技術的な要求事項に沿うのはやぶさかではありません。一方の品質マネジメントシステムは考えやすかわからない。まず、要求事項を読み解くことからスタートしました。

早川 取り組みを進めるにあたっては、品質マネジメントシステムに特化した組織をつくり、それぞれの役割分担を明確にしました。次に、品質マネジメントシステムの最上位に位置する「品質マニュアル」を作成するために、責任者を中心にディスカッションを重ねていきました。

伊藤 管理者レベルが理解していないことには周りに指導できません。そこでコアになるメンバーを中心に、文書管理、システム、環境管理、教育などの8つのワーキンググループを立ち上げて、それぞれの要求事項をどう解釈してどう対応していくのかという当院での共通認識を深めました。現在は、ワーキングから委員会という組織に引き継がれています。

早川 品質マネジメントシステムでは、PDCA(Plan, Do, Check, Action)サイクルを繰り返すことで、継続的な業務の改善を行うことが定められています。医師や患者さんのニーズを明確にして、組織の方針や目標を設定して、計画を立て、実行し、評価し、不具合を改善する。そうした考え方そのものを理解し、チーム全体に浸透させていくのにかなりの時間を要しました。

—ISOを取得することで何か変化がありましたか?

三浦 これまで何となく行ってきた精度管理や機器・試薬の管理をよりシステムチックに行うことで、患者さんや医師からの要望や苦情に対して、必ずフィードバックを行う仕組みができました。たとえば、医師から「検査結果をもっと早く出してほしい」と

いう要望が出たときに、どうすれば実行できるのかを考えて改善計画を出す。そうすることで、ただ漠然と仕事をするのではなく、「さらに改善していこう」という臨床検査技師一人ひとりの安全文化に対する意識が高まりました。教育面においても、記録をつけて評価する習慣が身についたことで、個々のスキルアップが自然にできています。

伊藤 標準作業手順書も作成しました。ベテランだけでなく、新人も理解できる手順書にすることで、いつ誰がどこで検査しても検査結果のバラツキが生じなくなりました。これは、患者さんにとっても大きなメリットだといえます。

宮原 何かトラブルが発生したときに対処するのは当然のことですが、そこからさらに踏み込んで、患者さんのデメリットになり得ることを未然に防ぐ「予防措置」にも取り組んでいます。

伊藤 たとえば、ある検査室で患者さんが転倒した場合、その原因を追究して改善した上で、それ以外の部屋についても同じようなトラブルが起きないように予防策を講じています。定期的にラウンドを行い、環境面で危険を及ぼしている箇所がないかをチェックしています。

—最後に地域のみなさんへメッセージをお願いします!

三浦 ISO15189の認定取得は決してゴールではなく、新たなスタートだと考えています。現状に満足することなく、品質管理の維持・向上に努め、地域のみなさんに安全かつ信頼性の高い検査を提供していきます。

宮原 最優先すべきなのは、質の高い検査を迅速に提供して、患者さんへのサービスを向上させることです。それに加えて、業務の無駄をなくし、効率化を図ることで、地域のみなさんに貢献していきたいと思っています。



西館1階にあります。

医療のギモンにお答え! よろず相談室

**地域連携・相談室**は、  
地域みなさまと当院をつなぐ地域医療の窓口です。

退院・転院支援や、活用できる社会制度の情報提供、患者さんやご家族のご心配事など、誰に相談していいかわからなくて困っていませんか? どんなことでもかまいません。まずはお気軽にご相談ください。